



学生と一緒に、子どもたちは体験活動に取り組みました。



英語での活動や大学教授の講義。勉強へのやる気が湧く時間となりました。



豊 いろいろな体験を通じて 9/16 かな心を育てる

群馬医療福祉大学藤岡キャンパスで、チャレンジキッズフェスタが開催され、親子連れでにぎわいました。このイベントは、子どもたちの心の成長に必要とされる豊かな体験の場を提供するもので、今年で3回目を迎えました。

会場では楽器の演奏やフラダンスなど「楽しむ」企画から、聴診器や看護体験などの「学ぶ」企画まで、さまざまなプログラムが大学生によって用意され、参加した子どもたちは、日常生活ではなかなか経験できないような体験を満喫していました。



学 授業とは違った勉強 8/23 ぶことを楽しもう

夏休みも終わり間近の8月後半、小学生対象の「サマー・イングリッシュ・チャレンジ」や中学生対象の「藤岡算学塾」が行われました。

初開催のサマー・イングリッシュ・チャレンジは約70人の参加者が学校での外国語活動を生かし、ALTや英語教諭と一緒に英語でのコミュニケーションやゲームを楽しみました。5日にわたる算学塾ではこの日、群馬大学の江森教授による特別授業が行われました。教授は数学の講義をしながら「気付き」や「数学的に考えること」の大切さを生徒に伝えました。

審査は色や形、硬さ、糖度などを基準に行われました。



み おいしさギュッと。 9/8 ずみずしくて甘い藤岡のナシ

県内でも有数のナシの産地である本市。実りの時期9月にはナシの共進会が行われ、その品質を競いました。出品物は審査後特別販売され、粒ぞろいのナシはあっという間に売り切れました。翌日にはららん藤岡でナシ無料配布も行われ、おいしいナシは各所で好評でした。



旬の野菜を使った料理を作りました。

環 エネルギーと時間の無駄を省き 9/8 境を考えた調理を学ぶ

食を通してエネルギーや環境について考える「地球にやさしいクッキング教室」が藤岡公民館で開催されました。教室では実演を交えながら、正しい火力や同時調理、水を汚さない洗い物方法などのエネルギーと時間を節約する調理方法を学び、参加者は感心した様子を見せていました。

出来上がった作品でさっそく音を聞きました。



手 何が聞こえるかな？ 8/26 作り聴診器で音を聞こう

総合学習センターでおもしろ科学教室が開催され、市内外から19人が参加しました。講師から音の鳴る仕組みを聞いたあと、子どもたちはストロー笛や聴診器作りに挑戦。悪戦苦闘しながらも聴診器を完成させると、はしゃぎながら教室内のいろいろな音を聞いていました。



暑さも忘れて夢中で土器を探しました。

期 古代の住居跡で 8/22 待ふくらむ発掘調査

本郷地内にある笹川沿岸地区遺跡群で、美九里東小の児童18人が発掘体験をしました。古墳時代の竪穴住居跡に集まり、土の掘り方を教わると、さっそく発掘を開始。土器の破片も複数出土し、参加した児童たちは「またやってみたい」と喜びの声をあげていました。